

---

## 第3章 緑のまちづくりの方針と目標

- 3 - 1 計画の基本理念
- 3 - 2 計画の基本方針
- 3 - 3 緑地の保全及び緑化の目標
- 3 - 4 計画の体系



敷島総合公園

### 3 - 1 計画の基本理念

# 森・里・まちの緑を愛して 心豊かに

## ～ ガーデンシティ・甲斐をめざして ～

本市は、北部の山地・丘陵地に広がる森林の“森”、中部の美しい棚田・果樹園などの農地が広がる“里”、南部の市街地と農地が混在する“まち”が一体的につながり、釜無川・荒川などの河川を有し、南に富士山、北に八ヶ岳など周囲の山々の雄大な景色が眺められる、豊かな自然に恵まれたまちです。

また、都市公園をはじめとする公園・広場、花の名所、社寺林、眺望ポイント、街路樹や道路沿いの花壇、巨木、ホタルの生息地、棚田、ため池など、数多くの緑が存在しており、私達の憩いの場としてはもちろん、日々の生活に潤いと安らぎを与えてくれています。

一方、急速な都市化によって市街地の拡散が進行し、県内でも有数の人口増加地域として発展してきた本市では、市民が住み続けたいと思える安全で快適性の高い都市環境を創造していく必要があります。

そのためには、効率的でコンパクトな市街地形成を図るとともに、自然環境の保全、環境負荷の軽減、安全性の向上、潤いのあるまちなみ形成、レクリエーション活動の場などの機能を持つ緑を、積極的に役立てていくことが重要となります。

先人より受け継いできた豊かな自然や緑を適正に管理して守り、生活を彩る緑をつくり・育てることにより、身近に花や緑とふれあえる環境を広げ、自然や生き物を愛する心を後世に継承していくことが、今を生きる私達に与えられた役割であります。

こうした取り組みは、行政のみならず、市民一人ひとりが緑の保全・創出・管理などに責任を持ち、花と緑のまちづくりに主体的に関わっていくことが重要となります。

まず、家庭の庭やベランダ、玄関先のガーデニングなど、身近で楽しく無理なく出来ることから始め、その活動の輪を広げることが、美しい自然と調和した生活環境の形成につながります。

本計画では、市民・企業の協力をいただきながら、より魅力的で快適な生活環境の創造を目指し、緑による良好な景観形成を進め、花と緑あふれるまちづくり「ガーデンシティ・甲斐」の実現を目指します。

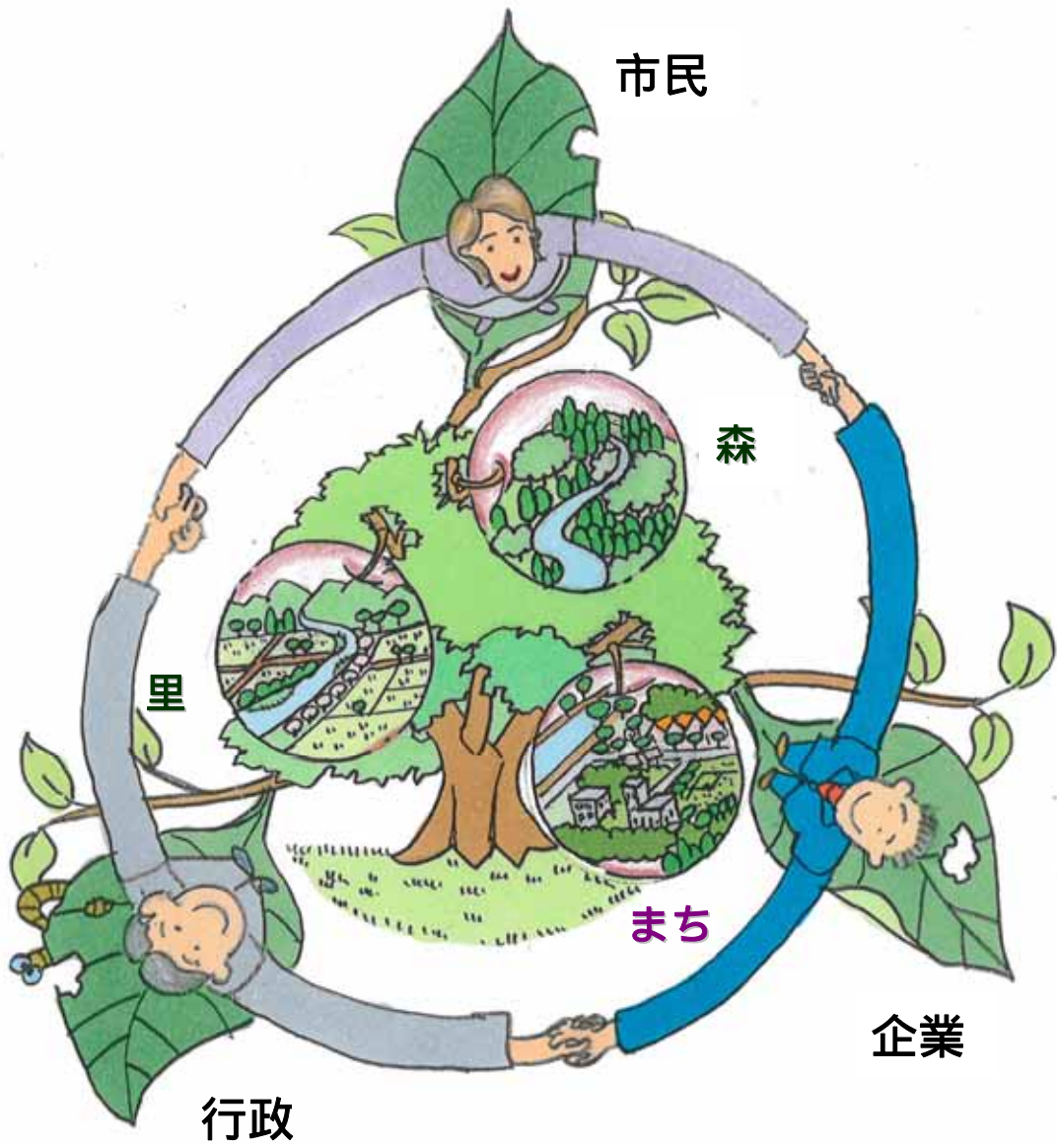


図 3-1 計画の基本理念イメージ

## 3 - 2 計画の基本方針

計画の基本理念に基づき、次のような基本方針を定めます。

### ふるさとの緑を保全・継承します

- 緑を守る -

ふるさとの緑を後世に継承するため、本市の緑の骨格を形成する森林、農地、河川をはじめ、先人より受け継いできた緑や景観を、適正に保全・管理するとともに、市民が緑とより親しみ、より一層愛着を持てるよう、これらの緑の有効活用を図ります。

### いきいきとした市民活動を育む緑を整備します

- 緑をつくる -

いきいきとした健康で快適な生活を送れるよう、レクリエーションやコミュニティ活動の場となる公園などの身近な緑について、必要に応じて整備・再整備するとともに、これらの緑を結び、健康増進などに役立つネットワークの形成に努めます。

### 甲斐市の魅力を高め、安全・快適な生活を支える緑を育てます

- 緑を育てる -

今まで大切に育ててきた公園、花の名所、社寺林、眺望ポイント、道路沿い花壇などの緑を甲斐市の魅力づくりに役立てるとともに、市街地の安全性や快適性を高めるよう、市民・企業と連携して公共施設や民有地の緑化を図り、質の高い緑の創出に努めます。

### 市民・企業・行政の協働による緑のまちづくりのしくみを整えます

- 緑を結ぶ -

花と緑あふれるまちづくり「ガーデンシティ・甲斐」の実現に向けて、市民・企業が緑と主体的に関わりを持ち、行政と連携していけるよう、協働の体制づくりや緑の情報提供、緑化リーダーの育成、緑化啓発活動の展開などのしくみづくりに取り組みます。

### 3-3 緑地の保全及び緑化の目標

緑地の保全及び緑化の目標は、市民・企業・行政が緑の基本計画に基づく施策や活動を推進する上での目標を、分りやすく共有するために定めるものです。

緑の量を増やすだけでなく、緑の存在と大切さを実感し、市民とともに花と緑のまちづくりを推進していくことを目指して、次のような目標を設定します。

表 3-1 緑地の保全及び緑化目標

目標項目	現況 (H20)	短期目標年次 (H27)	中間目標年次 (H30)	計画目標年次 (H40)
まちが花と緑に囲まれていると感じる市民の割合	54.0 %	60.0 %	65.0 %	75.0 %
一人あたり都市公園面積	6.1 m <sup>2</sup> /人	7.5 m <sup>2</sup> /人	7.5 m <sup>2</sup> /人	8.0 m <sup>2</sup> /人
公園を利用する人の割合	24.0 %	30.0 %	35.0 %	40.0 %
花と緑のまちづくりボランティア団体数の増加	49 団体	80 団体	90 団体	100 団体
市民が記念樹などを植栽する本数	5 人に 1 本	4 人に 1 本	3 人に 1 本	2 人に 1 本

#### 緑地の保全及び緑化の目標の解説

- ・ 及び は、第1次甲斐市総合計画に示されている成果指標項目です。
- ・ 及び の現況値は、平成20年のまちづくりに関するアンケート調査結果における「地域の環境への満足度」、「身近な公園の利用頻度（ほとんど毎日～月に1・2回）」の値です。
- ・ の短期目標値は第1次甲斐市総合計画に示されている目標、その他の目標値は現況値から想定した値です。
- ・ の現況値は、国の「頑張る地方応援プログラム事業」を活用して推進する「花と緑のまちづくりプロジェクト（事業期間 H19～H23年）」に示されている値、目標値はその成果目標<sup>\*23</sup>を踏まえて設定した値です。
- ・ の現況値は、H8～H20年度に市で交付した緑化記念樹の本数より算出したものです。今後は、市民がそれぞれの記念に合わせて自主的に樹木を植栽するよう促し、H27年で4人に1本、H30年で3人に1本、H40年で2人に1本の植栽を目指します。こうした市民の植樹活動の促進にあたっては、集合住宅居住者などに対する公共用地を含めた植栽場所の提供について検討していきます。



### 3 - 4 計画の体系

緑のまちづくりの課題

計画の基本理念

計画の基本方針

